

Pioneer

クラス D モノラルパワーアンプ GM-D8100

取扱説明書

車への取り付けは、必ずこの取扱説明書に従って正しく行ってください。指定以外の取り付け方法や、指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。この場合は、当社では一切の責任を負いかねます。

販売店様へ

接続、取り付け作業が完了しましたら、この取扱説明書はお客様へお渡しください。

※ 別売製品の接続および取り付けについては、別売製品に付属の説明書も併せてご覧ください。

■お客様登録のお願い

製品に関する情報をお知らせするために、お客様登録をお願いします。登録は弊社ホームページにて可能です。下記 URL にアクセスして登録を行ってください。

<https://jpn.pioneer/ja/support/>

なお、登録時に保証書に記載されている内容が必要になりますので、保証書をお手元にご用意ください。

弊社からの本製品の安全に関する重要なお知らせは、お客様登録をしていただいたお客様にいたします。必ず登録をしていただきますようお願いいたします。

パイオニア株式会社

〒113-0021

東京都文京区本駒込2-28-8 文京グリーンコート

© パイオニア株式会社 2018-2019



<KYTZ19K> <5707000012812V>

carrozeria




安全上のご注意 (安全にお使いいただくために必ずお守りください)

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

	警告	「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」です。
	注意	「人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」です。


■ お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。


	注意 (警告を含む) しなければならない内容です。		必ず行っていただく強制の内容です。
	禁止 (やってはいけないこと) の内容です。		

GM-003-001

接続・取り付け

警告

 **DC24V車では使用しない**
本機はDC12V⊖アース車専用です。DC24V車で使用すると火災や故障の原因になります。

 **エアバッグの動作を妨げる場所には、取り付けや配線をしな**


エアバッグが動作しなかったり、動作したエアバッグで製品や部品が飛ばされ死亡事故の原因になります。車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。

取り付けやアース配線に、保安部品 (ステアリング、ブレーキ、タンクなど) のボルトやナットを使用しない

制御不能や発火、交通事故の原因となります。


視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けない

交通事故やケガの原因となります。


 **電源コードの被覆を切って、ほかの機器の電源を取らない**
電源コードの電流容量がオーバーすると、火災や感電、故障の原因となります。

車両メーカーが指定する禁止エリアに、取り付けや配線をしな
カメラ装置などの動作を妨げるおそれがあり、交通事故の原因となります。車両メーカー、カーディーラーに注意事項を確認してから作業を行ってください。

適合車種以外には取り付けない
交通事故やケガの原因となります。適合車種については、販売店にお問い合わせください。

 **取付・取外し・配線は、専門技術者に依頼する**
誤った取り付けや配線、取り外しを行うと、車に支障をきたす場合があります。

また、お客様ご自身による取付・配線はケガの原因となりますので、販売店などにご依頼ください。

 **強制**
説明書に従って接続・取り付ける説明書に従わずに接続・取り付けを行うと、火災や故障の原因となります。

コードの被覆がない部分はテープなどで絶縁する
ショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

コード類は運転操作を妨げないように引き直し固定する

ステアリングやセレクトレバー、ブレーキペダルなどに巻きつくと、事故の原因となります。

作業前はバッテリーの⊖端子を外す
+と-経路のショートにより、火災、感電やケガの原因となります。

パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認し、干渉しないように取り付ける

穴あけドリル等がパイプ類、タンク、電気配線などと干渉すると、火災、故障の原因となります。

付属の部品を使用し、固定する
付属の部品以外を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れて運転の妨げになり、事故やケガの原因となります。

取り付けと配線が終わったら、車の電装品が正常に動作するか確認する

正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、交通事故の原因となります。


車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する


断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

取り付け場所の汚れ (ごみ、ほこり、油) などを取り除き、しっかりと取り付ける

走行中に外れ、交通事故やケガの原因となります。乗車時に取り付け状態 (接着やねじのゆるみなど) を点検してください。

注意

 **直射日光やヒーターの熱風が直接当たる場所に取り付け**
内部温度が上昇し、火災や故障の原因となります。

 **本機を不安定なところに取り付け**
落下などによる事故やケガ、故障の原因となります。


コード類は途中で切断しない
コード類にはヒューズがついている場合があるため、保護回路が働かなくなり、火災の原因となります。


コード類の配線は、車体の高温部・金属部・可動部に接触させない
断線やショートによる火災や感電の原因となります。

ヒーターの吹き出し口の近くに設置しない
製品の通風口、放熱板を塞ぐ場所には設置しない

熱風が直接当たったり、放熱が不十分となり、内部温度が上昇し、火災や事故の原因となります。

しっかりと固定できない場所や振動の多い場所には取り付け
走行時の振動で機器が外れて運転の妨げとなり、交通事故やケガの原因となります。

 **水のかかるところや結露、ほこり、油煙の多いところ**
発煙や発火、故障の原因となります。

 **並列接続するときはインピーダンスを確認する**

スピーカーを並列接続して使用する場合、合成インピーダンスがアンプやメインユニットの負荷インピーダンス適合範囲を下回ると、アンプやメインユニットの温度が上昇し、火災や故障の原因となります。

スピーカーコードは正しく接続する
アンプからの出力は、スピーカー入力と直接接続して、他の金属部に接触しないように配線してください。アンプからの出力の「-」側を共通にしたり、車のボディへの配線や接続は、火災、故障の原因となります。

使用方法

警告



禁止

大きな音量で使用しない
警告音など車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となります。

電池・ネジなどの小物部品は乳幼児の手の届くところに置かない
誤って飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

液体で濡らさない
発煙、発火、感電の原因となります。

ぶら下がったり、押したり引っ張ったりして、力を加えたりしない
ケガや車両の変形および故障の原因となります。



分解禁止

分解や改造をしない
交通事故や火災、感電の原因となります。



強制

ヒューズを交換するときは、規定容量（アンペア）のヒューズを使用する
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。

注意



禁止

本機は自動車用途以外で使用しない
発煙や発火、感電やケガの原因となります。

本機の上に重いものを乗せたり、乗ったりしない
落下させる、たたくなど、強い衝撃を与えない
故障や火災の原因となります。



接触禁止

スピーカーやアンプの放熱部に手を触れない
やけどの原因となります。



注意

取り付け後の走行振動でがたつきやゆるみがないか確認する
取付ネジ、金具は時々点検し、ゆるみがある場合は締め直してください。外れて、事故やケガの原因となります。

異常時の問い合わせ

警告



強制

万一異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ず販売店かサービス相談窓口にご相談する
そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

おもな仕様

パワーアンプ部

最大出力 (14.4 V) :
600 W × 1 (4 Ω)
1 600 W × 1 (1 Ω)

定格出力 (14.4 V) :
300 W × 1
(20 Hz ~ 240 Hz, ≦1% THD, 4 Ω)
500 W × 1
(100 Hz, ≦1% THD, 2 Ω)
800 W × 1
(100 Hz, ≦1% THD, 1 Ω)

負荷インピーダンス :
4 Ω (1 Ω ~ 8 Ω 使用可能)

周波数特性 :
10 Hz ~ 240 Hz (+0 dB, -3 dB)

S/N比 :
100 dB

ローパスフィルター
カットオフ周波数 :
40 Hz ~ 240 Hz

スロープ :
-12 dB/oct.

バスブースト (リモート)
周波数 :
50 Hz

レベル :
0 dB ~ 18 dB

ゲインコントロール
ロー入力 :
0.2 V ~ 6.5 V

ハイ入力 :
0.8 V ~ 16 V

最大入力レベル / インピーダンス
カーステレオのRCA出力と接続時 :
6.5 V / 25 kΩ

カーステレオのSP出力と接続時
(付属コード使用) :
16 V / 12 kΩ

一般

使用電源 :
14.4 V DC (10.8 V ~ 15.1 V 使用可能)

アース方式 :
マイナスアース方式

消費電流 :
22 A (定格出力時, 4 Ω)

平均消費電流* :
2.4 A (4 Ω, 1 ch)
3.6 A (2 Ω, 1 ch)
5.7 A (1 Ω, 1 ch)

ヒューズ :
40 A × 2

外形寸法 (W × H × D) :
252 mm × 60 mm × 215 mm

質量 :
2.8 kg (コード含まず)

付属品

取付キット : 1式
バスブーストリモート
コントロール
(コード 5 m を含む) : 1
取扱説明書 : 1
保証書 : 1



メモ

●上記の仕様および外観は予告なく変更することがあります。

※平均消費電流とは、音声信号を入力したときに本機が消費する最大に近い平均電流です。複数のパワーアンプをご使用になるときに、総消費電流の算出にご利用ください。

安全のために



感電事故を防止するために

●濡れた手で本機に触らないでください。感電するおそれがあります。また、本機が濡れているときも触らないでください。

●感電事故を防止するため、濡れやすい場所には本機を取り付けしないでください。



音量は控えめに

●運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。



安全にご使用していただくために

●ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量（アンペア数）のヒューズをご使用ください。規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります（バッテリーパワーコードと本体のヒューズは 40 A×2です）。

●本機には、本機およびスピーカーの故障を防止する、保護機能があります。

以下の状態になると、パワーインジケーターが赤色になり、アンプ本体をシャットダウンします。
— 製品内部の温度が高くなった場合
— スピーカー端子にDC電圧が発生した場合

以下の状態になると、パワーインジケーターが赤色になり、出力をミュートします。（音が出なくなる）

— スピーカー出力端子またはスピーカーコードが短絡した場合

このようなときはシステムの電源を切り、電源およびスピーカーの配線をチェックし、保護機能が働いた原因を解決してください。

●ヒューズが切れた原因や保護回路が働いた原因がわからないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。



接続・取り付けに関するご注意

●接続／取り付けの作業前は、必ずバッテリーの⊖端子を外してください。ショート事故による感電やケガの原因となります。

●本機は必ず平らな場所に取り付けてください。平らでない場所や突起物の上には取り付けしないでください。故障の原因となります。

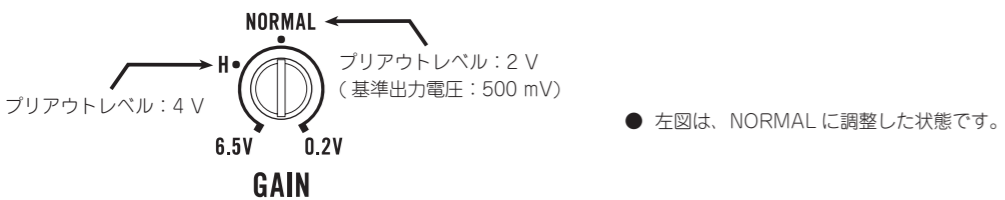
●本機を取り付ける際は、ネジなどの部品を挟み込まないように注意してください。故障の原因となります。

●車体に穴をあけて取り付ける場合は、パイプ類／タンク／電気配線などの位置を確認のうえ、これらと干渉や接触することがないように注意して行ってください。火災の原因となります。

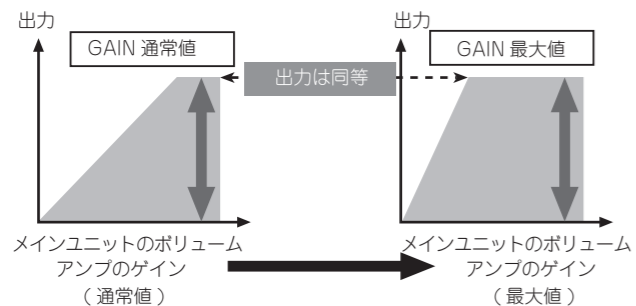
ゲインコントロールの使いかた

ゲインコントロールの設定

- この製品には、過大出力、誤配線、および誤使用などから本機やスピーカーを保護する機能があります。
- この保護機能により、大音量で音楽を再生しているときに、数秒間音声が途切れることがあります。ただし、メインユニットのボリュームを下げたときに、音声が途切れず再生される場合は故障ではありません。
- 音声が途切れて再生される場合は、アンプの「ゲインコントロール」が正しい位置に設定されていない可能性があります。このときは、次の操作を行ってください。
 - ・メインユニットの最大プリアウトレベルに合わせた「ゲインコントロール」位置に設定する
 - ・こうすることで、出力を下げずに、出力をコントロールできます。
- 次の場合は、最寄りの修理受付センターにお問い合わせください。
 - ・メインユニットのボリュームを下げて音声が途切れる
 - ・アンプの「ゲインコントロール」を正しい位置に調整しても音声が途切れる

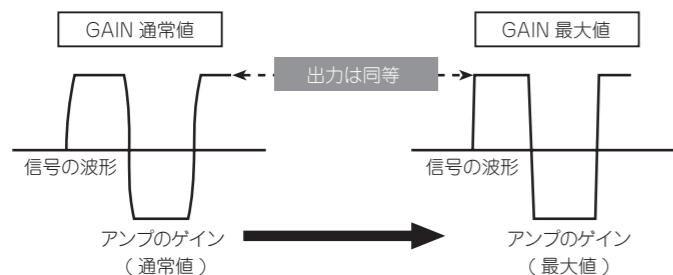


アンプのゲインとメインユニットのボリュームの関係



- アンプのゲインコントロールを必要以上に上げてても、出力される音声レベルは変わりません。ただし、音声の歪みが増加します。

アンプのゲインでボリュームを大きく出力した場合の信号の波形



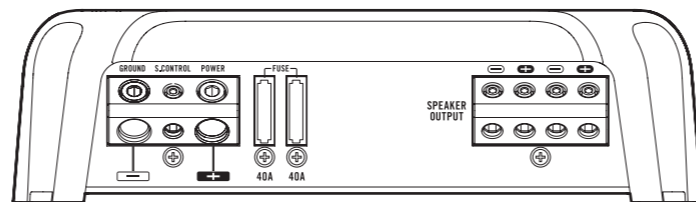
- 過大な出力によって波形に歪みが生じている場合は、アンプのゲインコントロールを上げてても、出力される音声レベルは変わりません。

各部のなまえと使いかた

本機には次の設定スイッチがあります。本機に接続するスピーカーの使用目的に合わせて正しく設定してください。

- 設定スイッチを切り換えるときは、必要に応じてマイナスドライバーなどを使用してください。

表面



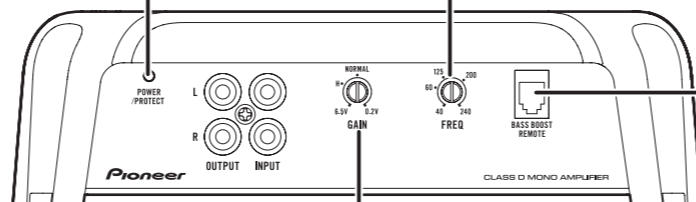
パワーインジケータ

本機に電源が入ると点灯します。通常は青色ですが、異常がある時は赤色に点灯します。

カットオフ周波数コントロール

LPFのカットオフ周波数を40 Hz～240 Hzの間で調節できます。

裏面



バスブーストリモートコントロール端子

バスブーストリモートコントロールを接続して、バスブーストレベルを0 dB～18 dBの中から選ぶことができます。バスブーストリモートコントロールの接続の仕方については、「接続のしかた」をご覧ください。

ゲインコントロール

本機にはゲインコントロールがあります。ゲインコントロールは、接続したカーステレオの出力レベルに、本機の入力レベルを合わせるためのものです。本機と組み合わせているカーステレオのボリュームを上げて音量が不足していると感じたときは、ゲインコントロールを右側に回します。また、ボリュームを上げたときに歪みを感じる際には、ゲインコントロールを左側に回してください。

- パイオニア製のRCA出力つきカーステレオ(基準出力電圧500 mV)と組み合わせたときは、NORMALの位置が目安になります。RCA最大出力が4 V以上のパイオニア製のカーステレオと組み合わせたときはゲインコントロールを左側に回して調節してください。

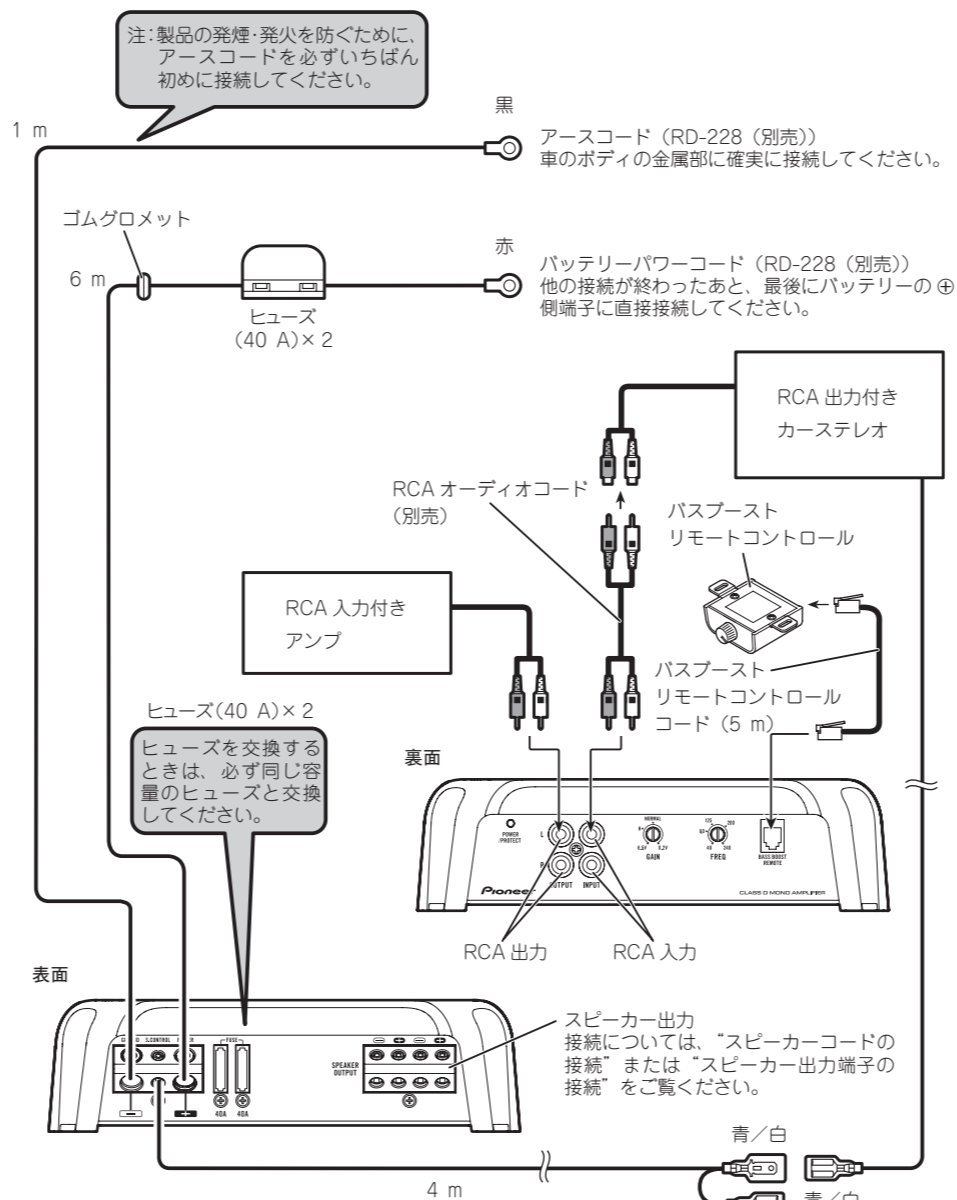
接続のしかた

接続上のご注意

- 本機の電源は、必ず RD-228 (別売) のバッテリーパワーコード (赤) を使用して、車のバッテリーに直接接続してください。また、アースは RD-228 (別売) のアースコード (黒) を使用して、車のボディに接続してください (RD-228 (別売) のバッテリーパワーコードとアースコードは、本機を安全に接続できるように設計されています)。
- コードを接続した端子ネジは、時間がたつと緩むことがあります。端子ネジが緩んでいないか定期的に点検してください。また、必要に応じて端子ネジを締め直してください。
- スピーカーコードは、太さが 8 AWG ~ 16 AWG のものを使用してください。
- スピーカーコードを直接アースしたり、複数のスピーカーの ⊖ リード線を共通で接続したりしないでください。
- 本機と組み合わせるスピーカーは、次の規格のものを参考にご使用ください。規格以外のスピーカーを使うと、発火・発煙・破損の原因となります。
 - ・インピーダンス 4 Ω / 定格入力 300 W 以上のサブウーファース
 - ・インピーダンス 2 Ω / 定格入力 500 W 以上のサブウーファース
 - ・インピーダンス 1 Ω / 定格入力 800 W 以上のサブウーファース
- カーステレオの電源を ON にしたまま長時間アイドリングを行っていると、バッテリーがあがるおそれがあります。アイドリング中はカーステレオの電源を OFF にしてください。
- RD-228 (別売) の青 / 白リード線 (システムリモートコントロール) を、エンジンスイッチを ON または ACC の位置にしたときに電源が供給される電源回路に接続する場合、カーステレオの電源を OFF にしても、本機の電源は OFF になりません。この状態のまま長時間アイドリングを行っていると、バッテリーがあがるおそれがあります。

- バッテリーパワーコード (赤) は、スピーカーコードからできるだけ離して取り付け、配置してください。また、バッテリーパワーコード、アースコード、スピーカーコード、および本機は、アンテナ、アンテナコード、およびカーステレオからできるだけ離して取り付け、配置してください。

●この図では、RCA出力付きカーステレオとの接続を示しています。



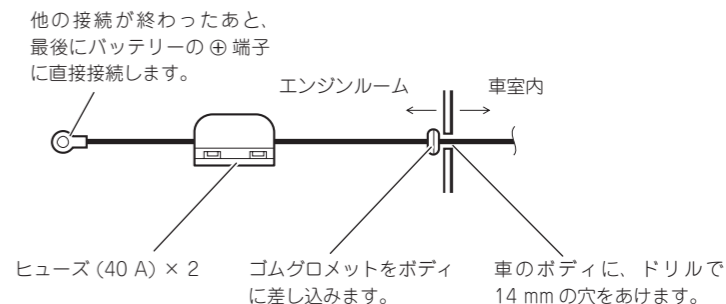
システムリモートコントロール (RD-228 (別売)) カーステレオのシステムリモートコントロールに接続します。接続するカーステレオにシステムリモートコントロールがない場合は、エンジンスイッチを ON または ACC にしたときに電流が供給される電源端子に接続してください。

電源コードの接続

- 本機の電源は、必ず RD-228 (別売) のバッテリーパワーコード (赤) を使用して、車のバッテリーに直接接続してください。また、アースは RD-228 (別売) のアースコード (黒) を使用して、車のボディに接続してください。(RD-228 (別売) のバッテリーパワーコードとアースコードは、本機を安全に接続できるように設計されています。)

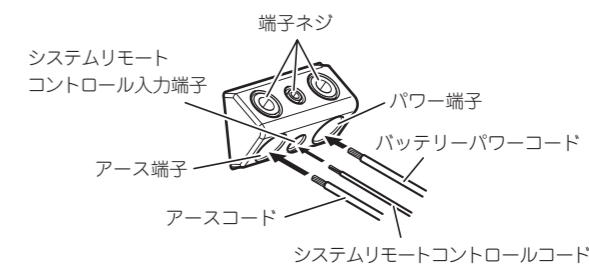
1 バッテリーパワーコードをエンジンルームから車室内へ通します

- ショート事故を防ぐために、バッテリーパワーコードのバッテリーへの接続は、他の接続が終了したあとに行ってください。



2 各端子にコードを接続します

- 付属の六角レンチを使用して、端子ネジでしっかりと固定してください。



- バッテリーなどの位置によって、高温となる場所にバッテリーパワーコードを配置しなくてはならない場合は、RD-228 (別売) に付属のコルゲートチューブでバッテリーパワーコードを保護してください。



メモ

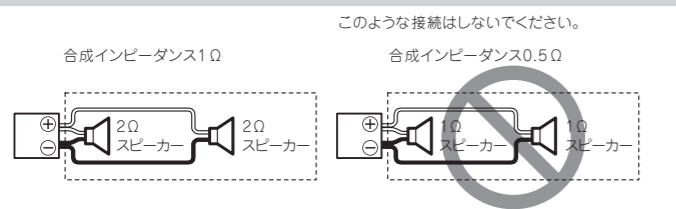
- 確実にアースするため、アースコードは、車両の塗装されていない金属部分に確実に接続してください。塗装されている部分に接続する場合は、あらかじめサンドペーパーなどで塗装をはがしてください。

スピーカーコードの接続

本機は2個のスピーカーを平行接続で使用できます。使用目的に合わせて接続してください。

平行接続時のご注意

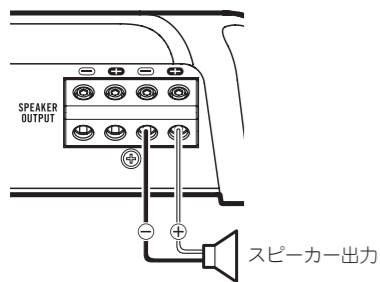
- 2つのスピーカーを使用する場合は、発火・発煙・破損を防ぐために、合成インピーダンスが1Ωから8Ωになっていることを確認してください。
- 1Ω以下の平行接続では、大音量時にミュートが掛かることがあります。故障ではありませんのでミュートが下がるまでボリュームを下げてください。



1 チャンネル (モノラル)

メモ

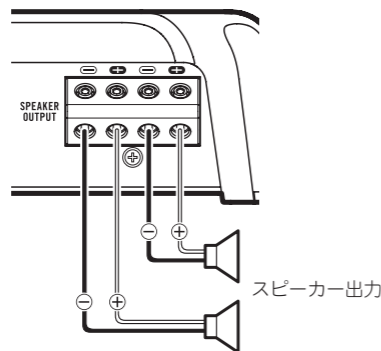
- インピーダンスが1Ω以上8Ω以下のサブウーファースをご使用ください。



2つのスピーカーに接続する場合 (モノラル)

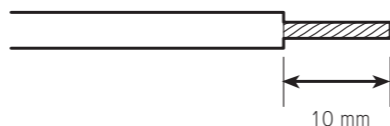
メモ

- インピーダンスが2Ω以上8Ω以下のサブウーファースをご使用ください。2つのスピーカーからは、同じ音が出されます。この接続は平行接続になります。



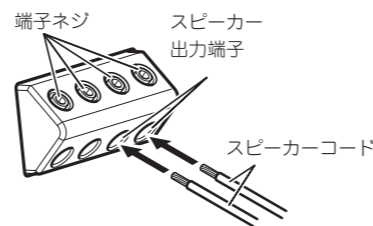
スピーカー出力端子の接続

- 1 スピーカーコードの芯線をニッパやカッターなどでおおよそ10mm出して、芯線の先端をよじります



- 2 スピーカー出力端子にスピーカーコードを接続します

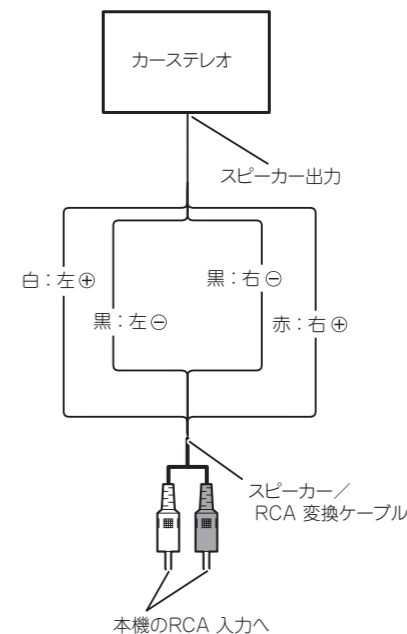
付属の六角レンチを使用して、端子ネジでしっかりと固定してください。



スピーカー入力ケーブルの接続

RCA出力がないカーステレオを接続する場合は、付属のスピーカー入力ケーブルを使用します。

- RCA入力端子とスピーカー入力端子を同時に接続しないでください。

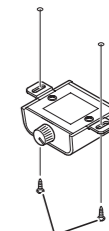


メモ

- インプットセンサーについて
本機とカーステレオを、スピーカー/RCA変換ケーブルで接続した場合、カーステレオの電源ON/OFF動作と本機の電源ON/OFF動作は連動します。ただし、カーステレオによっては、この機能が正しく動作しないことがあります。この場合は、システムリモートコントロールコードを接続してください。また、複数のアンプを同時に接続する際は、システムリモートコントロールコードを使用してメインユニットとすべてのアンプを接続してください。
- 本機は入力信号を検出して、RCAレベルとスピーカーレベルのいずれかの入力信号モードを自動的に選択します。

取り付けのしかた

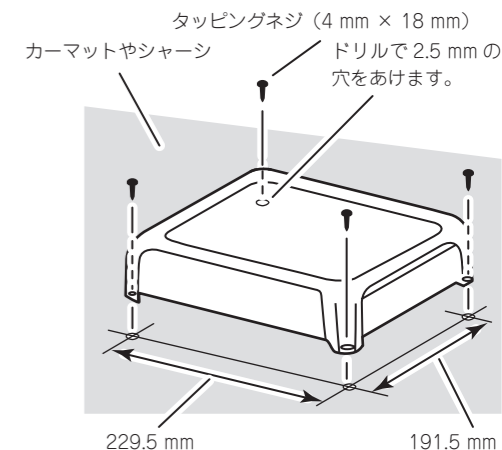
- バスブーストリモートコントロールの取り付け
● タッピングネジ (3mm×10mm) を使ってダッシュボード下など、調整しやすい場所に取り付けます。



タッピングネジ (3mm × 10mm)

- 本機の取り付け・固定の前に

- まず仮接続を行い、本システムが正常に動作することを確認してください。動作しない場合は、接続・設定に誤りがないか、ヒューズが切れていないか、もう一度チェックしてください。
- 取り付けた状態でスペアタイヤ、ジャッキ、工具などが取り出せることを確認してください。



動作を確認する

接続・取付が終わったら、次の操作を行って、本機が正常に動作することを確認してください。

1 接続・取付をもう一度確認します

接続・取付に誤りがないか、各コネクタが確実に接続されているか、もう一度目で見て確認してください。

2 車のエンジンをかけます

3 本機の動作を確認します

本機およびシステムが正常に動作することを確認してください。（各スイッチの設定については、「各部のなまえと使いかた」の項を参照してください。）
動作しない場合は、接続に誤りがないかもう一度チェックしてください。

故障かな？と思ったら

ちょっとした接続・設定のミスなどで故障と間違えることがあります。故障かな？と思ったときは、次のことを行ってください。

1 接続・設定にミスがないかを、もう一度確認してください

2 接続・設定にミスがなかった場合は、「保証書とアフターサービス」をご覧ください。

分解はしないでください。

保証書とアフターサービス

保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめの上、ご購入の際に販売店より受け取ってください。保証書に記入漏れがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。
記載内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

修理について

本機は持ち込み商品のため出張修理は承っておりません。引き取り修理サービスをご利用ください。（お車から取り外していただいた状態での引き取りとなります。また送料はお客様ご負担となります。）

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店または修理受付窓口にご連絡ください。連絡先については、裏表紙の「修理窓口のご案内」をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店または修理受付窓口にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

車からの脱着（お取り外し・お取り付け）について

弊社修理拠点へのお持ち込みは、製品をお車から取り外した状態で、承ります。なお、修理・点検時における本製品のお車からの脱着費用の負担、及び脱着作業は承っておりません（保証期間内含む）。販売店、または取付店にご相談ください。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。（性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

<各窓口へのお問い合わせ時のご注意>
[0120]で始まる電話番号は、携帯電話・PHS一部のIP電話などからは、ご使用になれません。
携帯電話・PHSからは、ナビダイヤル、またはIP電話をご利用下さい。（通話料がかかります）
正確なご相談対応のために折り返しお電話をさせていただくことがございますので発信者番号の通知にご協力いただきますようお願いいたします。

商品についてのご相談窓口 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただけますようお願いいたします

パイオニア商品の取り付け組み合わせなどについては、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

●商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

カスタマーサポートセンター	
受付時間	月曜～金曜 9：30～18：00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）
■電話	《カーオーディオ／カーナビゲーション商品》 【固定電話から】 0120-944-111 （無料） 【携帯電話・PHSから】 0570-037-600 （ナビダイヤル・有料） 上記の電話番号がご利用いただけない場合 050-3820-7540 （IP電話・有料）
■ファックス	0570-037-602 （ナビダイヤル・有料）
■インターネットホームページ	https://jpn.pioneer/ja/support/ ※商品についてよくあるお問い合わせ・お客様登録など

修理についてのご相談窓口 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただけますようお願いいたします

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の「故障かな？と思ったら」を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、①型名②ご購入日③故障症状を具体的に、ご連絡ください。

修理受付窓口	
受付時間	月曜～金曜 9：30～18：00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）
■電話	【固定電話から】 0120-5-81028 （無料） 【携帯電話・PHSから】 0570-037-610 （ナビダイヤル・有料） 上記の電話番号がご利用いただけない場合 050-3820-7550 （IP電話・有料）
■ファックス	0120-5-81029 （無料）
■インターネットホームページ	https://jpn.pioneer/ja/support/purpose/repair/ ※インターネットによる修理のお申し込みを受け付けております。

部品のご購入についてのご相談窓口 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただけますようお願いいたします

●部品（付属品、取扱説明書など）のご購入について

部品受注センター	
受付時間	月曜～金曜 9：30～18：00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）
■電話	【固定電話から】 0120-5-81095 （無料） 【携帯電話・PHSから】 0570-057-140 （ナビダイヤル・有料） 上記の電話番号がご利用いただけない場合 050-3820-7551 （IP電話・有料）
■ファックス	0120-5-81096 （無料）
■インターネットホームページ	https://jpn.pioneer/ja/support/purpose/parts/flow/ ※FAXでご注文の際は上記ホームページの付属品購入の流れを参照のうえ、付属品注文票をダウンロードしてご利用ください。

記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。